

## 本校の特色

- 肢体不自由児(者)のための特別支援学校です。
- 幼稚部が設置されています。
- 幼稚部から高等部まで一貫した教育を行っています。
- 一人一人の障害の状態や能力に応じた教育を行います。

## スクールポリシー

幼稚部・小学部・中学部・高等部の各部の独自性と一貫性を柱とし、幼児児童生徒一人一人の特性と能力に応じた教育をすすめ、家庭や社会の成員として、力強く生き抜く人間を育成するため、各部のめざす姿を次のとおりとします。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 幼稚部:なかよく遊ぶ子   | 小学部:いきいきと学ぶ子  |
| 中学部:自分の力を伸ばす子 | 高等部:自分らしく生きる子 |
- 一人一人の障害の状態や将来の姿を見据えて作成した個別の指導計画を基に、三つの教育課程で個々の学びを進めます。
  - 日常生活とのつながりを意識した体験的な学習を通して、社会性の向上を図ります。

## 各部の目標 校訓 たくましく、ゆたかに、すこやかに

### 幼稚部

- 友達や教師との関わりを通して、集団での活動に参加する態度や習慣を身に付けます。
- 体験的な活動を通して、心身の調和のとれた発達の基礎を培います。



わくわくタイム

### 小学部

- 集団生活を通して生活経験を広げ、発達段階に応じた思考力、判断力、表現力等を育成します。
- 個に応じた指導を通して、基礎的な学力及び基本的な生活習慣を身に付けます。



生活単元学習

### 中学部

- 小学校段階で培ってきた力を基に、たくましく豊かな心と主体性を育てます。
- 個に応じた指導と集団生活を通して、日常生活に必要な知識、技能、態度および習慣を身に付けます。



産業現場等における実習



生活単元学習

### 高等部

- 中学校段階で培った力をさらに育成し、将来の社会生活に必要な知識や技能を身に付けます。
- 自己理解を促し、各生徒の特性に応じた体験的な学習を通して、より豊かな生活を送る基盤をつくります。

## 教育課程の編成

小学部・中学部・高等部の各部では次の三つの教育課程を編成し指導しています。

### 教育課程A

小学校、中学校、高等学校の当該学年、あるいは下学年の各教科等に加え、自立活動の指導を行う教育課程

### 教育課程B

身体障害や知的な発達の遅れに応じて、日常生活や社会生活に必要な学習を取り入れて指導を行う教育課程

### 教育課程C

重度の身体障害や知的な発達の遅れに応じて、自立活動を主として行う教育課程

## 交流及び共同学習

- 近隣の小学校、中学校、高等学校との計画的な学校間交流を通して、相互理解を深めるとともに、生活経験を広げ、社会性を育みます。
- 小学部・中学部の希望者には、居住地校交流を実施しています。



交流及び共同学習の様子

## 医療的ケア

- 日常的に医療的ケア(吸引・経管栄養・導尿など)が必要な幼児児童生徒には、保護者の協力を得ながら、学校看護師が医療的ケアを実施しています。
- 健康で楽しい学校生活を送れるように、きめ細やかな健康観察と安全・安心な医療的ケアを心がけています。



ケアルームの様子

## 寄宿舎

- 遠隔地等で、通学が困難な児童生徒のための寄宿舎を設置しています。
- 寄宿舎では、自主性を養うことや良い生活習慣を身に付けることに重点を置いて指導しています。



起床の様子

## 訪問教育

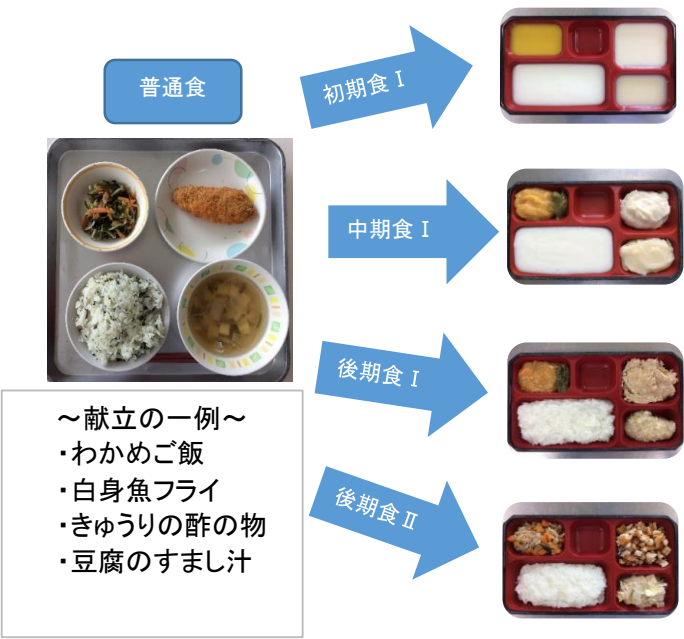
- 体調面等で通学が難しい児童生徒に、教師が家庭を訪問し、指導しています。児童生徒の実態に応じ、教科、日常生活、自立活動等の指導をします。集団での活動を経験するために、本校の行事への参加、同学年や訪問生同士との学習の機会を設けています。
- 1回につき2時間の授業を週3回(週当たり9単位時間)行います。



授業の様子

給食

- 摂食機能に応じて、普通食に加えて、初期食Ⅰ・Ⅱ、中期食Ⅰ・Ⅱ、後期食Ⅰ・Ⅱの7形態で調理しています。
- 主治医の指示を基に、個々に応じて食物アレルギー対応食を作っています。



主な年間行事

＜前期＞

- 入学式
- 遠足
- 運動会
- 宿泊学習(小)
- 産業現場等における実習(高)
- 進路体験学習(高)

＜後期＞

- 修学旅行
- 遠足(幼)
- 社会見学(小・中)
- 進路施設見学(高)
- 文化祭
- 入学者選考(幼・高)
- 卒業式

教育相談

体験入学

幼稚部や小学部入学前の障害のあるお子さんとその保護者の方を対象に、体験入学を実施しています。

つぼみ相談

地域の保護者や学校関係者の皆さんが抱える、障害のある幼児児童生徒の子育て、支援や指導法についての悩みに対して情報を提供したり、一緒に考えたりする相談活動を行っています。

上記の他、教育相談や学校見学は随時受け付けています。

交通のご案内

- 尾張一宮駅から名鉄バスで20分
- 「山郷西行き」または「一宮市総合体育館行き」 「川島」行き
- 名神高速道路一宮 ICから車で10分
- 東海北陸自動車道一宮木曽川 ICから車で5分
- 一宮特別支援学校下車 徒歩5分
- 一宮北高校口下車 徒歩8分

